

第27回 平成25年度 定時総会・懇親会

定時総会・懇親会の模様



定時総会・受付模様



定時総会・早内会長あいさつ



事務局より事業報告



定時総会・模様



定時総会・閉会あいさつ



定時総会・模様



定時総会・模様



ふるさと特産品販売コーナー

懇親会の模様



来賓挨拶・山本浩章 益田市長



来賓挨拶・山本浩章 益田市長



来賓挨拶・益田市議会議長



来賓挨拶・益田商工会議所会頭



益田市役所より益田のPR



益田商工会議所青年部からPR



島根県観光キャラクター「しまねっこ」



乾杯挨拶・島根県人会会長

懇親会・アトラクションの様様



益田市美都町・三谷神楽社中



三谷神楽社中・鈴鹿山



お疲れさまでした



鬼さんお疲れさまでした



三谷神楽社中・恵比須



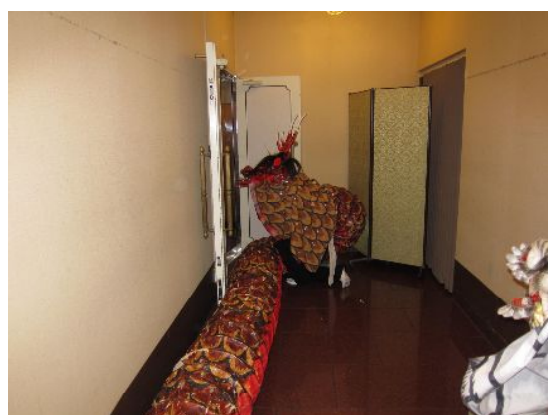
懇親会・アトラクションの様様



準備中失礼しました



三谷神楽社中・大蛇



そろそろ出番ですよ



三谷神楽社中・大蛇



懇親会・アトラクションの様様



三谷神楽社中・大蛇



お疲れさまでした

懇親会・アトラクションの様様



石見神楽・三谷神楽社中



「しまねっこ」と記念撮影



「しまねっこ」と記念撮影



「ふるさと」合唱で閉会

2014年1月28日の山陰中央新報に掲載されていました

勇壮な「大蛇」の舞を
観賞する近畿益田会の
メンバー



神楽を観賞し
120人親睦深める
大阪で近畿益田会
近畿益田会（早内高
士会長、170人）の
総会が26日、大阪市内
であり、関係者約12
0人が親睦を深めた。
総会では、山本浩章

同郷同士
ふるさと出身者の集い

益田市長が「益田市の人口は、自然減少が続く中で、一昨年から社会増がみられ、明るい兆しが見えてきた。豊かな自然が残る故郷に戻ってもらえるよう、魅力ある郷土づくりに努めたい」とあいさつした。

続く懇親会には、県の観光キャラクター「しまねっこ」が登場し、参加者と記念撮影。

郷土製品の紹介の後、益田市美都地区の三谷神楽社中による石見神楽が披露され、「鈴鹿山」「恵比須」「大蛇」などの勇壮な舞に盛んな拍手が送られた。

郷土製品が当たるお楽しみ抽選会に続き、全員で「ふるさと」を合唱して閉会した。

平成 26 年度

近畿益田会

第 27 回総会・懇親会



水仙は益田のシンボルです

日 時 平成 26 年 1 月 26 日
 午前 10 時～午後 2 時 30 分
場 所 大阪弥生会館

第27回 近畿益田会定時総会・懇親会

年月日 平成26年1月26日
場 所 大阪弥生会館

プログラム

I. 総会 (11:00～11:20)

1. 物故者への黙祷

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 議 事

(1) 平成25年度事業報告

(2) 平成25年度決算報告

(3) 平成25年度決算監査報告

(4) 平成26年度事業計画(案)

(5) 平成26年度会計予算(案)

(6) 役員担務変更(案)

(7) 質疑応答及び採決

5. 閉会の挨拶

司 会 西池 慶子

会 長 早内 高士

事務局長 松本 英二

会計部長 森元 美佐男

会計監査 椋木 スミエ

事務局長 松本 英二

会計部長 森元 美佐男

事務局長 松本 英二

会 長 早内 高士

副 会 長 中島 健二

II. 懇親会 (11:30～14:30)

1. 開会の挨拶

2. ご来賓挨拶

益田市長

益田市議会議長

益田商工会議所会頭

山本

寺井

島田

司 会 西池 慶子

副 会 長 石田 亘

浩章 様

良徳 様

憲郷 様

3. ご来賓紹介

4. 「ふるさと益田」等からのメッセージ

西池 慶子

市役所、商工会議所青年部

しまねっ子

5. 乾 杯

島根県人会会長

戸津川

明克 様

6. アトラクション

(1) 石見神楽 「鈴鹿山」「恵比寿」「大蛇」

三谷神楽社中

(2) お楽しみ抽選会

7. 合 唱 「ふるさと」

顧 問 椋 活 兼

8. 閉会の挨拶

副 会 長 椋木 スミエ

ふるさと

- 1 うさぎ追いしかの山 小鮒釣りしかの川
 夢はいまもめぐりて 忘れがたき故郷

- 2 如何にいます父母 つつがなしや友がき
 雨に風につけても 思い出づる故郷

- 3 志を果たして いつの日にか帰らん
 山は青き故郷 水は清き故郷

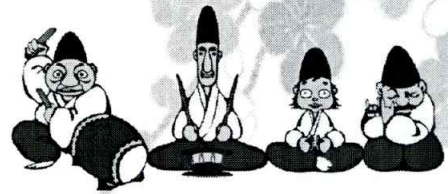
春はもうすぐです
七尾公園の桜



～石見神楽 in 近畿益田会～

平成 26 年 1 月 26 日

●社中紹介●



【石見神楽 三谷神楽社中】

明治初年、大神楽宮司大石千代太が中倉の三浦民七に教えて一座をつくらせたのが三谷神楽のはじまりです。昭和 56 年に無形民俗文化財として美都町指定を受け、郷土芸を後世に伝えるために団員一丸となって練習を行っています。現在団員数は約 20 人です。

●演目紹介●

【鈴鹿山～SUZUKAYAMA～】

第五十代桓武天皇（781 年—806 年）が坂上田村麿（756 年—811 年）に鈴ヶ山の悪鬼人を退治するよう命じる。田村は早速鈴ヶ山の麓に行き、村人の道案内を受けて登山し悪鬼人を退治する。武勇伝である。後に闘將軍として名声高き武士になる。

【恵比須～EBISU～】

この神楽は一般的に、恵比寿大黒と言って「芽出鯛」鯛釣りをすることから婚礼を初め色々なお祝いのイベントに招かれることが多く、最後の親子での掛け合いの台詞もめでたい内容でまとめられている。又大国主命、事代主命と言った親子の舞でもある為家運隆盛を願う意味から願う意味からも婚礼には欠かせないものとされている。

【大蛇～OROCHI～】

須佐之男命が、川をのぼってみると、そこに老夫婦と娘が嘆き悲しんでいました。命が訳を聞くと、この奥山に大蛇が住み、娘をさらって行くと言います。これを聞いた命は、娘を妻とすることを条件に大蛇退治を約束します。大蛇は頭が八つに尾が八つあり、腹は血でただれているといひます。命は老夫婦に濃い酒を造らせ、大蛇が酔い伏したところを退治します。

「島根県大阪事務所からの お知らせ」メール配信始め ます!

関西・東海地方において、島根県
や県内市町村等が実施する「観光
イベント、物産フェア、古代歴史
文化講座、或いはUターン説明会
など」の情報を随時メールでお知
らせします。

平成26年1月スタート

「お知らせメール」
登録者募集中!!



観光キャンペーン
(奈良県内ショッピングセンター)



桜祭りでの島根県物産展
(大阪アメニティーパーク)

登録方法はこちら



島根県大阪事務所

検 索

島根県大阪事務所

大阪市北区西天満3-13-18島根ビル2階

TEL 06-6364-3605 FAX 06-6364-3854

E-MAIL osaka-ofc@pref.shimane.lg.jp

<http://www.pref.shimane.lg.jp/osaka/>